

○彼方上地区実証運行について

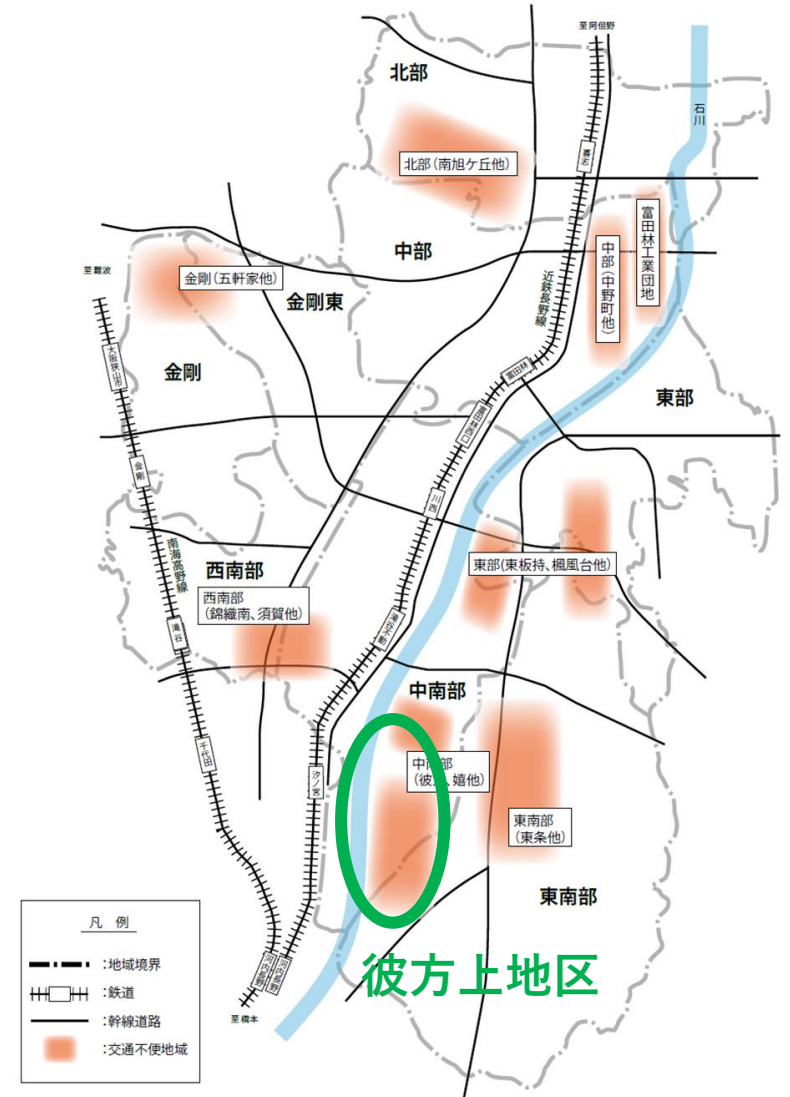
- ◇彼方上地区でのこれまでの経過について
- ◇実証運行の概要について（案）
- ◇実証運行による需要予測について
- ◇今後のスケジュールについて（予定）

彼方上地区公共交通の実証運行について

◇彼方上地区でのこれまでの経過について

彼方上地区とは？

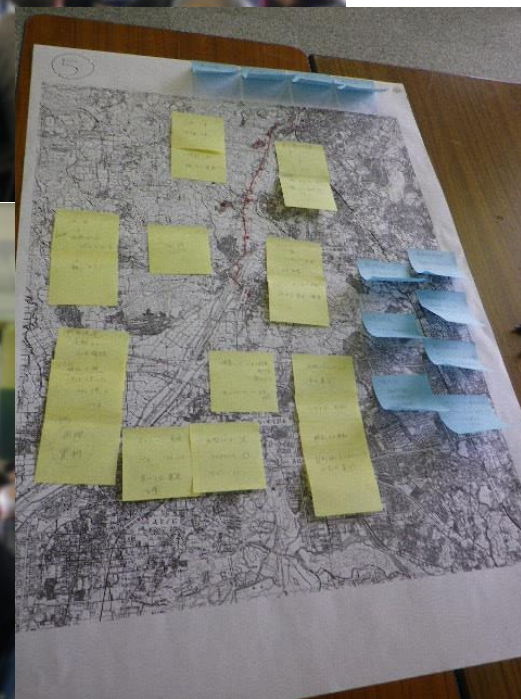
- 主催：彼方上7町会まちづくり協議会
- 活動地域：彼方上7町会（大字嬉、横山、伏見堂）
- 人口：1,415人（令和4年3月時点。以下同じ。）
- 世帯数：707世帯 高齢化率：41.3%
- 地域の特徴：高齢化により、移動困難者が急増している。
坂道や狭い道が多く、徒歩移動が困難な方が急増している。



彼方上地区公共交通の実証運行について

◇彼方上地区でのこれまでの経過について

- 平成30年4月 公共交通の検討を開始
- 平成30年6月～8月 第1回勉強会
- 平成30年12月 第2回勉強会
- 平成31年4月 住民アンケートの実施
- 令和2年1月 第3回勉強会
- 令和2年度 関係事業者と協議、コロナ禍により検討を休止
- 令和3年度秋～ コロナ禍で休止していた公共交通の検討を再開
- 令和3年12月～
 - ・ 地域による運行計画（案）の検討
 - ・ 河内長野市・警察・運輸局等、関係機関と事前協議
- 令和4年5月
- **令和4年6月 まちづくり協議会による実証運行の実施を決定**

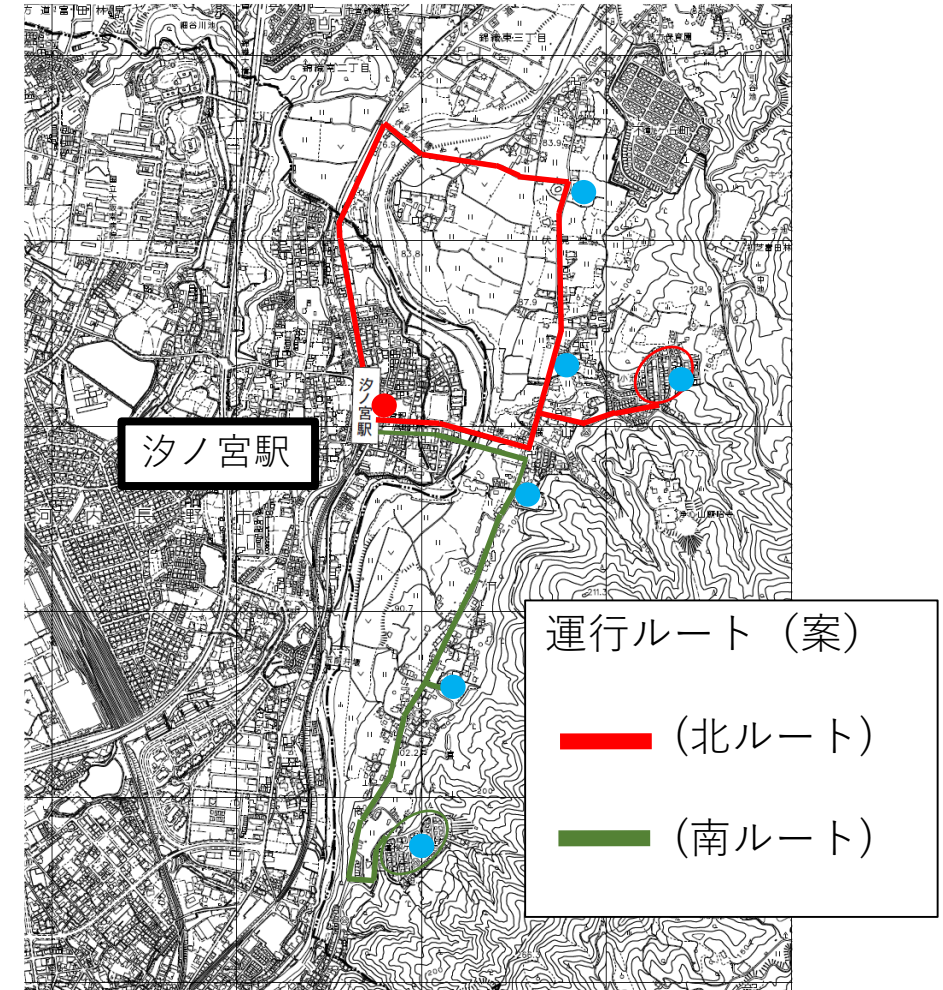


彼方上地区勉強会
(ワークショップ)の様様

彼方上地区公共交通の実証運行について

◇実証運行の概要について（案）

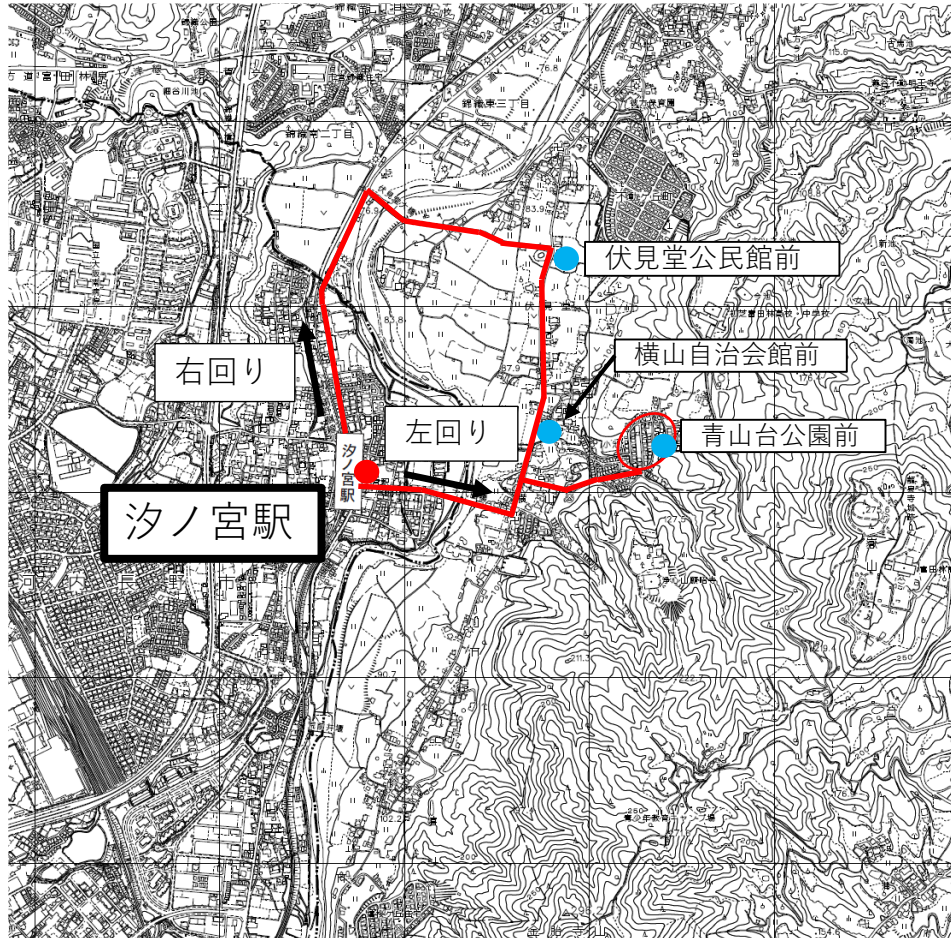
項目	内容
目的	実証運行により、彼方上地区における公共交通の実現可能性を検証し、かつ、公共交通に対する機運を高めながら、本格運行に向けての判断材料とすることを目的とする。
運送許可	道路運送法第21条第2号による許可
車両	中型タクシー（乗客4人乗り）又は同等以上の定員を確保できる車両（1台）
運行ルート	右図のルート（案）を基本とする
運行方式	定時定路線型
運行期間	「令和4年10月1日～令和5年3月31日」間で、運行事業者と協議の上決定する
運行日時	原則、毎日 AM9:00～PM6:00
運行頻度	1時間間隔を基本とする
料金	大人300円（小児は半額）を想定



彼方上地区公共交通 実証運行ルート全体(案)

彼方上地区公共交通の実証運行について

実証運行ルート 北ルート(案)



運行ルート（案）：

■（北ルート） 約3.6km

- ・ 右回り
汐ノ宮駅前 ⇒ 伏見堂公民館前 ⇒ 横山自治会館前 ⇒
青山台公園前 ⇒ 汐ノ宮駅前
- ・ 左回り
汐ノ宮駅前 ⇒ 青山台公園前 ⇒ 横山自治会館前 ⇒
伏見堂公民館前 ⇒ 汐ノ宮駅前

所要時間：約14分

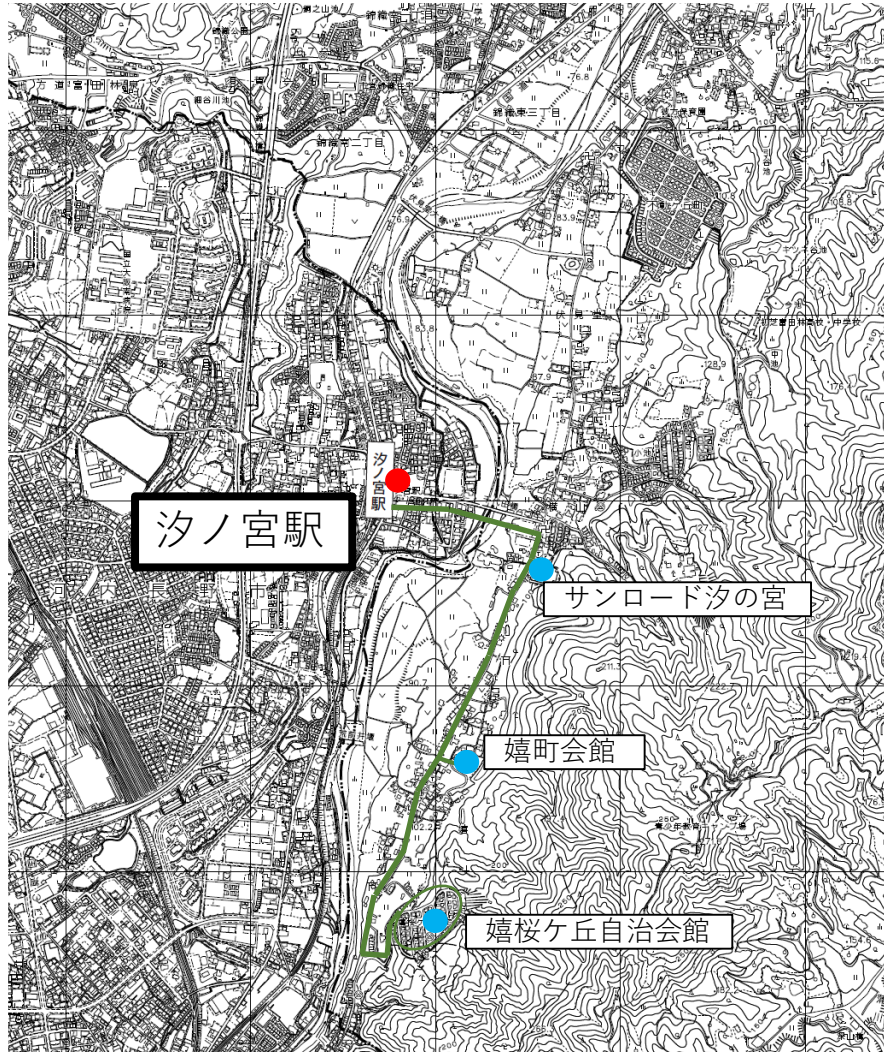
運行頻度：1日8便（右回り・左回り各1周、1時間間隔）

運賃：大人300円（小児は半額）

※運行事業者との協議により、変更となる可能性があります

彼方上地区公共交通の実証運行について

実証運行ルート 南ルート(案)



運行ルート（案）：

——（南ルート） 約2.4km

汐ノ宮駅前⇔サンロード汐の宮⇔
嬉町会館⇔嬉桜ヶ丘自治会館

所要時間：約9分（片道）

運行頻度：1日8便（1往復で、1時間間隔）

運賃：大人300円（小児は半額）

※運行事業者との協議により、変更となる可能性があります

彼方上地区公共交通の実証運行について

◇実証運行による需要予測について

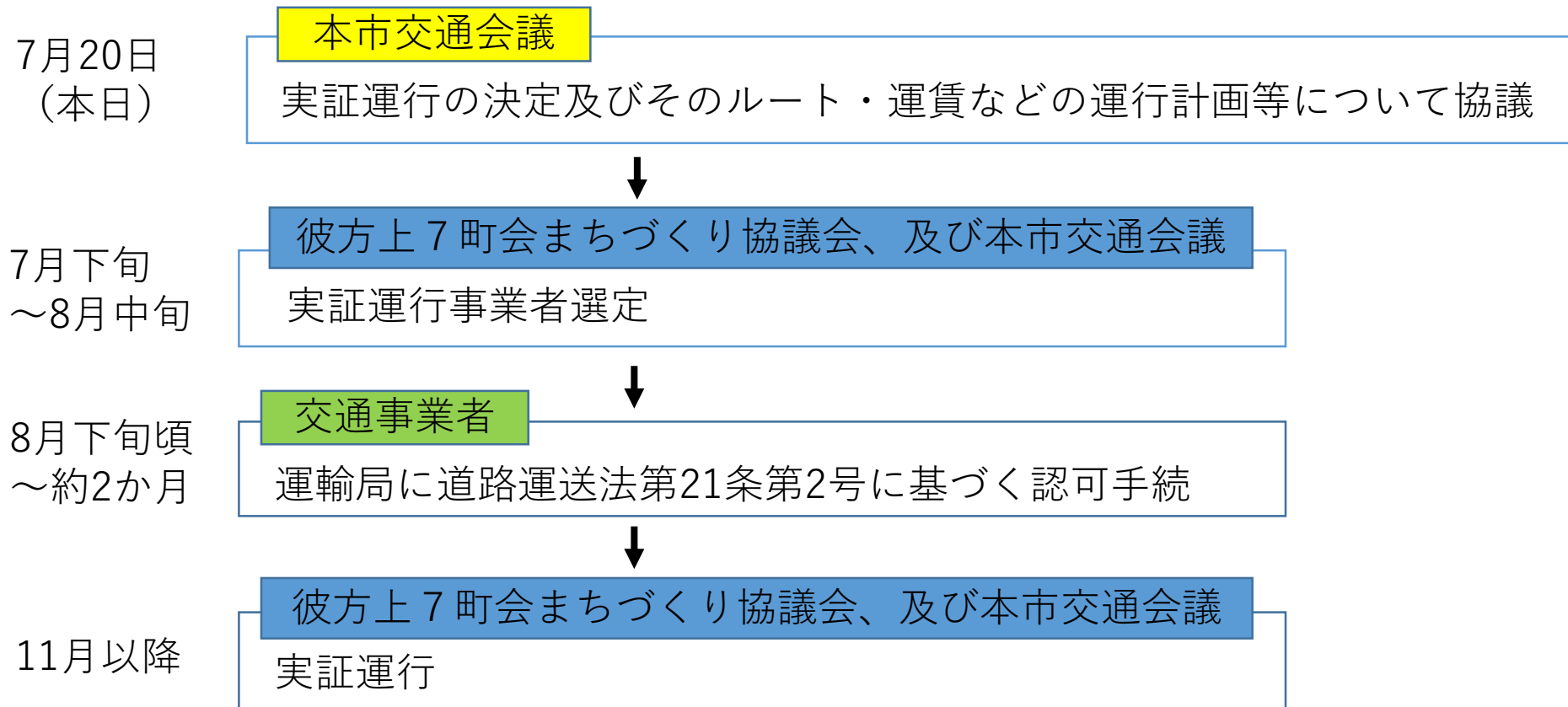
【運賃300円で、利用者全員が大人のみで試算した場合】

◎利用者数（見込み）

- 1日平均 平日49人、土日祝33人
内訳：1便あたり 北ルート1～2人（全日）
南ルート1～4人（平日） 1～2人（土日祝）
- 運賃収入（見込み）402,600円／月（平日22日、土日祝8日で試算）
 - ※ 運賃収入が運行経費に満たない額（赤字額）は市補助金を活用
- 市補助金の額 令和4年度 2,000,000円
 - ※ 実証運行は赤字額を市補助金で全額負担。
 - ※ 本格運行時は、赤字額の一部を地域で負担することを検討。
併せて、国のフィーダー系統補助の活用も検討する。

彼方上地区公共交通の実証運行について

◇今後のスケジュールについて（予定）



今後のスケジュールについては、新型コロナウイルスの感染状況や、彼方上7町会まちづくり協議会、本市交通会議、及び交通事業者の協議により変更となる可能性があります。

彼方上地区公共交通の実証運行について

• 本格運行に向けて

